



# 岡田

## 学校教育目標

10年間を見通した確かな学力と  
豊かな人間性の育成

### 目指す子ども

ふるさ加佐を愛し 夢 未来に向かって歩み続ける子ども  
~笑顔で いきいき 自分から~

平成30年12月21日

舞鶴市立岡田小学校  
学校だより No.10

<http://okada-es.maizuru.ed.jp>

## 2学期の終わりに…

【イチヨウのじゅうたん  
気持ちいい!】



第2学期の終業式を迎えました。今学期の始業式では、「2学期は様々な行事があり、自分を鍛える絶好のチャンスです。一生懸命がんばり最後までやり抜くことを大切にしましょう。」と話をしました。

全校84名の子どもたちは、実際に多くの学習や行事に取り組み一人一人が大きく成長したように思います。冷たい雨が降る中、最後まで全力を出した運動会を始め、敬老会の発表、校内マラソン大会、人權学習など、多くの行事がありました。保小中が連携した学習も充実し、低学年は岡田保育園の園児と芋ほりなどで交流しました。中学年は社会見学や合同授業で由良川小の友達とともに学びました。高学年は岡田・由良川両校のよさを出し合い、合同音楽会や加佐中学校の文化祭で美しい歌声を響かせました。それぞれの行事の中で、自分の目標に向かって努力し、「できなかったことができるようになった」「忍耐強くやり通した」など、たくさんの力を付けました。また、毎日の学習では、地道な努力の積み重ねによって、少しずつ、考える力や自分の思いを説明する力などを高めました。個々の違いはありますが、それぞれが一回り大きくなったように思います。子どもたちが充実した2学期の学校生活を送ることができましたのも、保護者の方々を始め、地域の皆様方のご協力ご支援があつてこそだと感謝しております。

さて、明日から冬休みです。各地区・地域・町内会などでは、役員様の交代時期が1月のところも多く、12月は締めくくりの月ですが、学校や一般の事業所では4月に始まり3月で終わりますから、この時期はまだ中間点となります。しかし、3月は何かと忙しく、年度末だからと、落ち着いて1年を振り返る余裕もないのが現実です。やはり、ゆっくり1年を振り返るのは、この時期がぴったりかも知れません。

昔から「1年の計は元旦にあり」といいますし、新年を迎えて「今年こそがんばるぞ…!」と展望を持つことも多いと思います。でも次のステップを踏み出す前に、まず、今までがどうであったかを振り返って「反省」してみることも大切ではないでしょうか？

「反省する人は、きっと成功する。」これは、Panasonic株式会社の創業者、故 松下幸之助 氏の言葉です。「誰でもそうだが、反省する人はきっと成功する。本当に正しく反省すると、次に何をすべきか、何をすべきかは分らないか分かる。それで人間として成長する。反省をしないとそのことが分からないから、同じ間違いを繰り返す…。(要約)」と。今までしてきたことが成功であっても失敗であっても、正しく反省することが大切だと言います。松下氏は1日が終わり就寝する前に、1時間反省することを勧めています。自分の学習や仕事、役割を振り返り次につなげるためには、できたことを確かめ、できなかった原因を探り、「すること」と「しないこと」を自覚して、次への準備をすると、安心して前へ進めます。まさに「反省なくして進歩なし(松下幸之助)」です。「自分を鍛えるチャンス」が多い2学期でしたから、「反省する材料」もたくさんあると思います。そこで「一年の計は年末にあり」です。チャンスを活かすことができたか、今年のうち反省して、新年のために心の準備をする大晦日もいいかな…と思います。

2019年は「平成」から「新しい時代」へと変わる年。「反省」を活かしつつ、新年度へとしっかりつながる3学期にしたいです。3学期の始業式には、子どもたち全員がそろって元気に登校できることを願うとともに、皆様おそろいで新年をお迎えますようお祈り申し上げます。



### 小中一貫で子どもを育てる…⑨

#### 小・小連携 4年福祉教育

「人にやさしく」(総合的な学習の時間)の発表会をしました。身体障害者福祉センターやみずなぎ学園、ライフステージ舞夢からゲストを招き、自分たちが福祉について体験的に学んだことを画像や大型リーフレット(発表後に各施設へ送らせていただきました。)にまとめ発表しました。障害者との交流や障害者支援・介護の学習、各施設見学を通して知ったことや考えたことを今後の生活に活かしたいと、ゲストの方々にしっかりと伝えることができました。

12月5日(水)に岡田小・由良川小の4年生が、福祉教育「人

【福祉教育「人にやさしく」発表会】



校長 波多野 暢 教職員一同